

## 日 誌 (昭和50年4月)

## 【国 内】

- 2日 ○昭和50年度一般会計予算、政府案どおり可決成立
- 5日 ○大蔵省、民間設備投資および建築投資にかかる融資抑制措置の緩和について、各金融団体代表者あて指導通達(「要録」参照)
- 15日 ○日本銀行、公定歩合の引下げを決定(「要録」参照)  
○全国銀行協会連合会等、「短期貸出自主規制金利」の廃止を決定(「要録」参照)
- 16日 ○政府、国税収納整理資金に関する法律施行令の一部を改正する政令を公布(同日施行)  
○東京銀行、中国銀行と円・元の先物取引協定に調印
- 19日 ○大蔵省、損害保険会社の不動産取得規制について指導通達
- 25日 ○政府、独占禁止法改正案を閣議決定  
○大蔵省、大蔵省証券を3年4か月ぶりに発行(月中4,020億円)

## 【海 外】

- 1日 ○スイス、為替ポジション規制を強化  
○タイ、公定歩合の引下げを決定(11.0→10.0%、即日実施)
- 2日 ○インド、豪州等11か国、鉄鋼石油輸出国連合を設立
- 3日 ○パキスタン綿花輸出公社、余剰綿花の地方工場向け売却を開始  
○ニュージーランド、輸入削減措置を発表
- 4日 ○デンマーク、公定歩合の引下げを決定(5.5→5.0%、7日から実施)  
○スペイン、インフレ対策を発表
- 6日 ○IMF理事会、1975年オイル・ファシリティの要綱を発表
- 7日 ○インド、輸入自由化を含む75年度輸入政策を発表
- 9日 ○米国連邦準備制度理事会、支払準備制度の一部変更を発表  
○OECD加盟国、「経済協力開発機構金融支援基金」設立に関する協定に調印
- 10日 ○フランス、公定歩合の引下げを決定(11.0→10.0%、即日実施)  
○スイス政府、景気刺激策を発表
- 11日 ○スイス、最低準備預金積立義務を緩和
- 15日 ○英国政府、1975年度予算案を発表  
○1975年春季広州交易会開催(5月15日まで)
- 16日 ○ポルトガル、基幹産業の国有化方針を発表
- 18日 ○英蘭銀行の最低貸出歩合低下(10.0→9.75%)  
○イタリア銀行協会、協定預金金利の引下げを決定(5月1日から実施)
- 20日 ○インド、ECとの3か年繊維協定を締結
- 23日 ○フランス、新景気対策を発表  
○オーストリア、公定歩合の引下げ(6.5→6.0%、24日から実施)、輸出振興貸出枠拡大を発表  
○ベルギー、公定歩合の第3次引下げを決定(7.5→7.0%、24日から実施)  
○インド、イラン両国、経済協力議定書に調印
- 24日 ○ブンデスバンク、ロンバード貸付歩合の引下げを決定(6.5→6.0%、25日から実施)  
○スイス、市中貸出増加額規制を5月以降撤廃する旨発表  
○ベルギー、貸出準備規制および預金準備率の廃止等を骨子とする全面的金融緩和措置を決定(5月1日から実施)  
○第8回アジア開発銀行総会、マニラにおいて開催(26日まで)
- 25日 ○ポルトガル、制憲議会選挙を実施
- 28日 ○西ドイツ5大経済研究所、共同景気見通し等を発表
- 30日 ○ベルギー、物価凍結措置を決定(5月5日から実施)